

新たな生活様式に対応した 多様な食育情報の発信



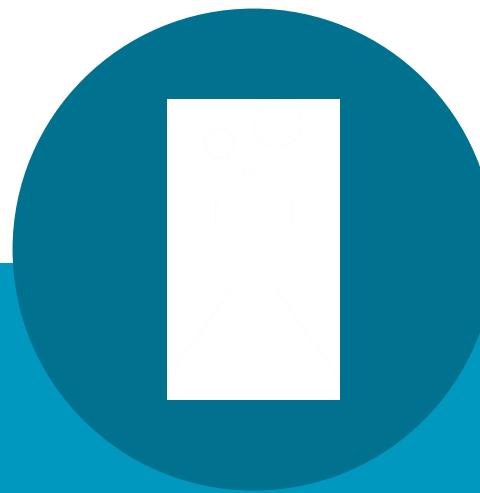
公益財団法人ダノン健康栄養財団
事務局代表 藤本奈巳
since1998

財団紹介

Since 1998

2012年：公益財団法人として認定

ダノンジャパンの寄付による運営。宣伝活動ではなく、社会全体に公平に偏りのない健康・栄養情報を提供。純粹に皆様の健康のための社会貢献を目的とする活動。



研究者を対象に
研究の支援及び助成



管理栄養士を対象に
フォーラム等の開催



一般の方(主に子供)に
健康や栄養の情報提供



今日お伝えしたい事

20年以上の実績

低予算・小規模組織でも出来る事は色々あります！

最初からあきらめない！

今取り組んでいる多様な食育活動(1)



早寝・早起き
朝ごはん冊子

約33万部配布



生活習慣向上
食育講座

開催：250回以上
参加者：3万人以上



スポーツ
栄養学セミナー

© 2021 DANONE INSTITUTE OF JAPAN FOUNDATION All Rights Reserved.



スポーツ
栄養ガイドブック

約 2 万部配布

今取り組んでいる多様な食育活動(2)

食育情報サイト「ごはんだもん！げんきだもん！」年間約30万ページビュー

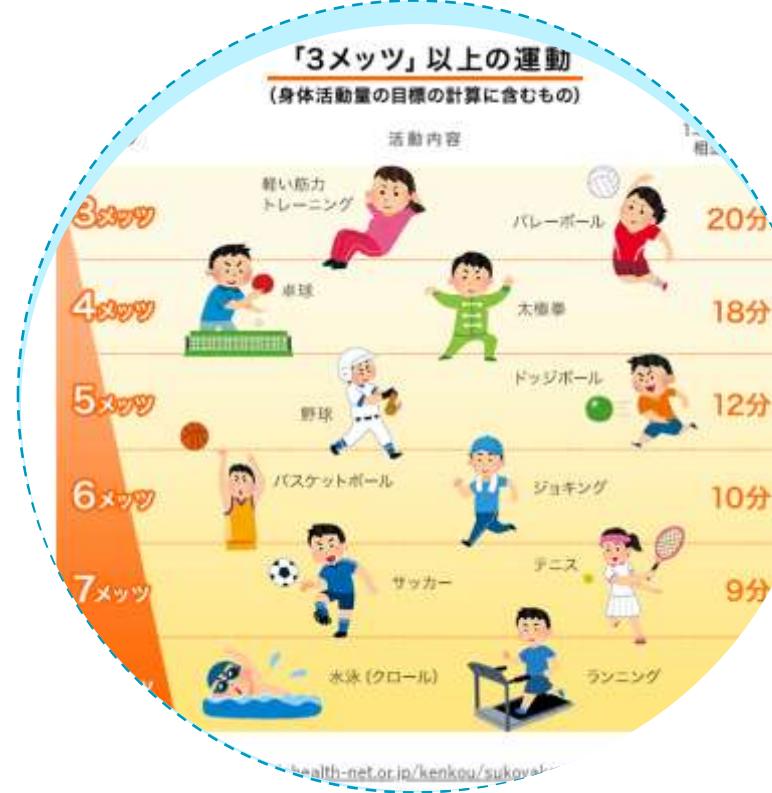


スポーツ食育
インタビュー

約50編
100本の記事



約400レシピ



スポーツ栄養コラム

約 80 本の記事



食育Q&A

200問以上

今取り組んでいる多様な食育活動(3)



管理栄養士向け
栄養フォーラム

過去22回
約1億人の参加者



助成金制度

22年間で
累計3.1億円



公式HP運営
4 SNS × 2 サイト

約30万PV

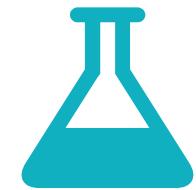


管理栄養士向け
メルマガ

Vol.200突破

実施プロセス

要望をしっかりヒアリング



研究者



管理栄養士



小中学生

1

DIJF

<現場最優先>

なぜ、こんなにたくさんの
施策に取り組めるのか？

2

課題を熱心に共有



フリー
IT技術者



フリーの
栄養士



中小規模
パートナー

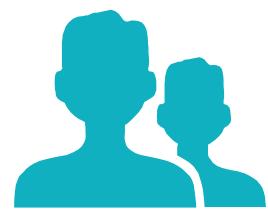
<小規模同士のネットワーク>

主運用
数名で

DIJF

3

最新情報と最適PLAN



IT技術者



フリーの
栄養士



中小企業



学術的知識のバックアップ

無理なく小規模で実施

4



研究者



管理栄養士



小中学生

大きな失敗がなく
小さな改善で継続が可能

DIJF

無駄を省いたスピーディな取り組み

このコロナ禍、皆さんがそれぞれ困っています

研究者

渡航不可、臨床実験も制限があり実施困難。調査協力者の激減など過酷な状況

教育現場

制限下で行事を進めて行く精神的負担と一向に改善されない通信環境

管理栄養士・栄養士

全体的に仕事量は減少。特に変化に対応できないフリーランスはさらに厳しいが

子ども（保護者）

行事取りやめ・運動不足による心身不良、肥満化、共食→黙食、食生活への悪影響、



対応例 1: フォーラムの完全オンライン配信への移管



- ・ 過去22回はすべて会場開催
 - ・ 5年前からライブ配信も併用
-
- ・ 2500件以上の申し込み
 - ・ アンケートでの満足度84%
 - ・ 翌日まで見逃し配信
 - ・ コストは約1/3に低減

対応例 2:食育授業のDVD貸出とオンライン化



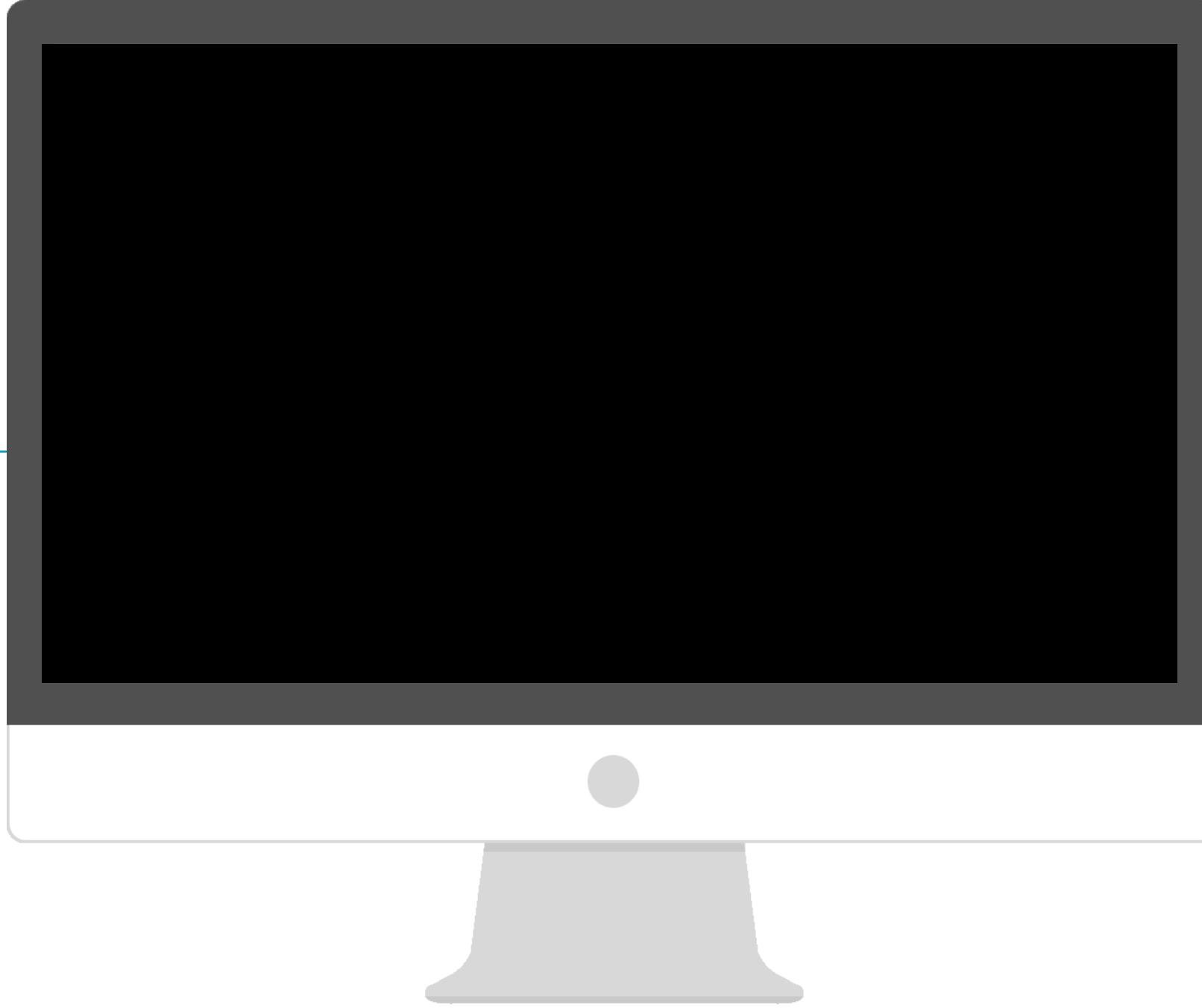
- ・食育講座の再開依頼が相次ぐ
- ・以前より地方からの依頼も多数
- ・リモート授業orDVDの貸出し
- ・インターネット環境が小中学校では脆弱
- ・来月120世帯の親子に実施予定

対応例3:遅ればせながらSNS立ち上げと運用開始



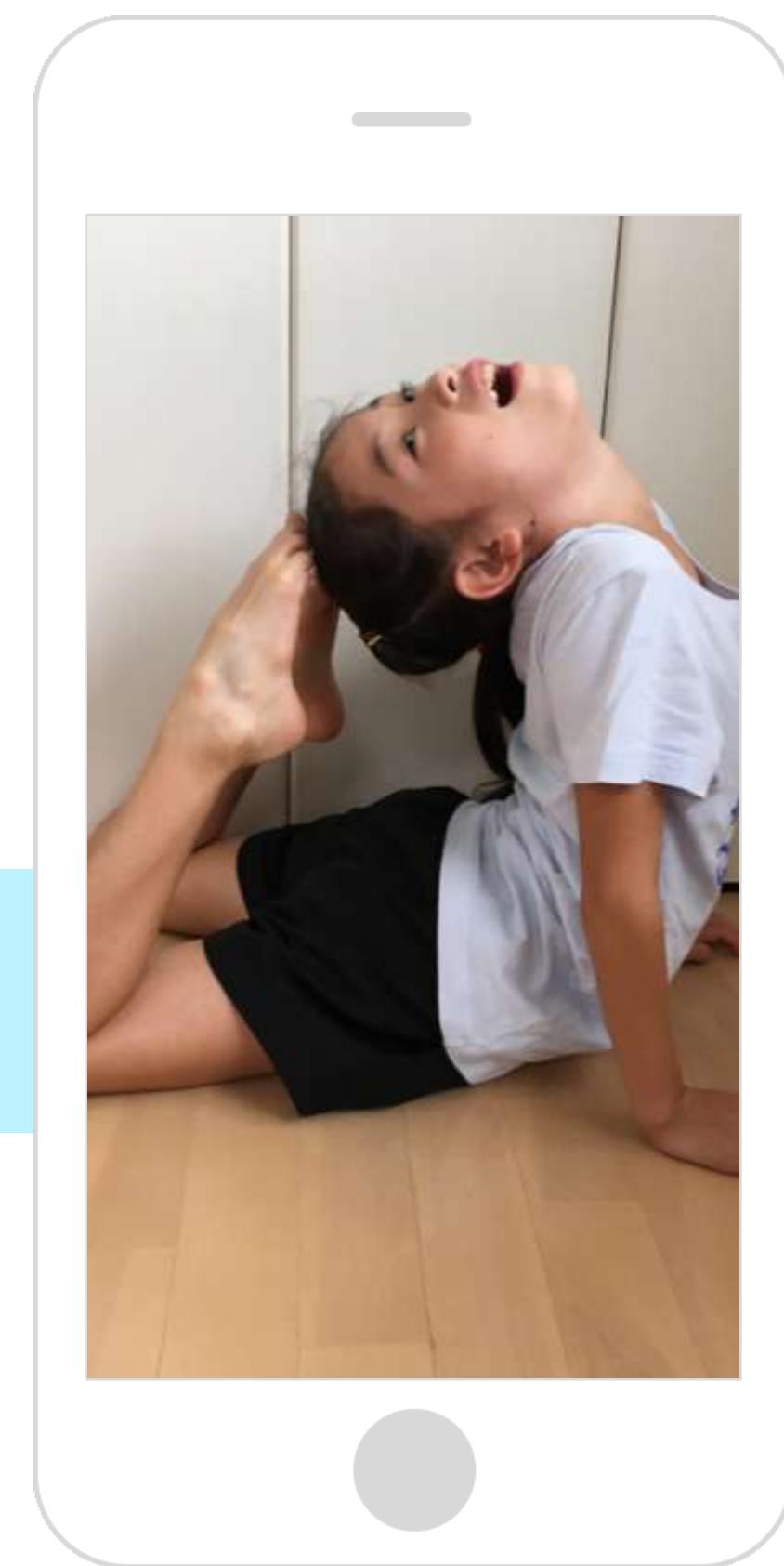
- ・リソース不足から消極的
- ・今や若い世代の必須メディア
- ・You tube/twitter
Instagram/Facebook
- ・サイトコンテンツをリユース
- ・無理ない範囲で続ける

対応例4:消化ダンジョンゲームコンテンツ



- ・体の機能を学びながら
うんちをGETするWEBゲーム
 - ・構想期間、約10年
-
- ・おうち時間を楽しく学んで
過ごす
 - ・今春、Stg 7まで完成予定
 - ・派生コンテンツ展開企画中

企画中



●Youtube“自宅でトレーニング(仮題)動画掲載

●大人向けメディア



さらに、領域を広げ
新しい事にチャレンジ！

これまでの知見や経験を活かし
大きな体制変化をせまられる事なく、
課題解決の施策を打つ事が出来ました

これまでの非効率なアナログ作業を思い切って廃止！
文書・ハンコ処理、移動を伴う対面行事など見直し
益々スリムにコンパクト化を図り、その分事業を拡大させる！

オンライン化を進める良い転機と捉える！

この先も機動力と小回りの利点を生かして
様々な可能性にTRYします



私たちは先を見据えています・・30年後の食卓を



Thank You



DANONE
INSTITUTE
JAPAN